

地利用などの取り組みを一体的に進める新たな体制整備として、来年度の早い段階での「地域農業再生協議会」への移行を求められておりますので、本町としましても早い段階での体制移行を考えています。

営農維持緊急支援資金について

低温や日照不足などの異常気象により農作物が大きく減収したことから、農家に対し必要資金の利子補給による支援をすることとした営農維持緊急支援資金についてですが、2月末現在での集計では、資金利用申請者21名、申請資金総額は34,960千円となっております。

なお、資金利用申請は、11月30日までですので、この後も引き続き資金利用のPRを図ります。

県営ほ場整備事業の進捗状況について

下岩川地区については、今年度3億4千万円の予算枠をいただき、27.7haの整地工事が終了し、現在32.4haの暗きょ排水工事を施工中です。また、予算枠のうち、5千7百万円を次年度に繰越し、今年度整地工事されたところに暗きょ工事を施工する予定です。

地先干拓地区は、3億9千万円で山谷鹿南工区36haの整地工事と地先工区1工区～6工区の暗きょ工事を施工中です。こちらも6千万円を次年度に繰越し、山谷鹿南工区と地先7工区の暗きょ工事を実施します。

泉八日地区については、1億4千5百万円で7.8haの整地工、49.8haの暗きょ工、道路工4,700mを実施しております。また、夏場の整地工事を行うため、21.5ha分、4千5百万円を次年度に繰越しする予定です。

いずれの工事も順調に推移しており、計画どおり平成24年度事業完了の予定です。

除雪経費について

県南地区に比べ積雪量は、それほど多くありませんでしたが、12月下旬から2月上旬にかけての降雪日数が多かったことから、出勤日数が多くなり2度の補正予算専決をさせていただきました。2月中旬までの除雪委託費と町営オペレーター賃金を合わせると、昨年比に1.35倍の約85,000千円となっております。

上水道事業について

山本第2配水池築造工事については、2月18日に配水池本体組立が完了し、水圧試験、水張り試験も良好に終了しており、外構工事を残すのみとなっております。

下水道事業について

不明水の原因については昨年から引き続き調査し、原因ではないかと推察される箇所にもーターを設置し経過を観察する予定です。

下岩川地区農業集落排水事業につきましては、中継ポンプ設備、汚水処理施設等まもなく完成の予定です。

次年度には、汚水を流しながら機械の機能調整を図ることとなりますが、適切な調整が出来るよう今後、対象集落で説明会を開催し、加入促進に努めます。

みたね大学について

昨年5月26日に開講したみたね大学は、10のコース別学習に265人が入学し、俳句などの文芸や歴史、舞踊、唱歌、健康づくりなどの各コースで学習して、先月25日に閉講式を行っています。

全体学習会4回と各コース5回のすべてに参加した受講生76人には皆勤賞が、また、欠席1回のみ59人には努力賞が贈られました。23年度においても多くの方ががみたね大学に入学され元気に受講されることを望みます。

三種町スポーツ文化栄誉賞について

2月26日に学校や各団体から推薦されたスポーツや文化活動に優れた成績を挙げた個人や団体に栄誉賞を授与いたしました。

町長賞は、第55回全国高等学校軟式野球選手権大会優勝の原動力となった、能代高校3年生伊藤洸太さん他6名と、平成22年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技69キログラム級スナッチ優勝の能代工業高校2年生小山内健さんの8個人に、また、教育委員会賞は、スポーツ部門で33個人、5団体、文化部門では、14個人1団体が対象となりました。受賞されました皆さまに、心からお祝い申し上げますとともに、今後益々活躍されることをご期待します。

施政方針

財政状況

厳しい財政状況に対応し、効率的で効果的な自治を目指すため、「三種町行財政推進計画」を実施したことにより、最悪の財政状況は脱出したものと認識していますが、町の財源の半分以上を占める地方交付税については、多額の借金を抱える国が財政健全化を進める方向にあるなど、今後の動向は予断を許さないものとなっております。平成22年度からの「三種町行財政改革大綱」に沿って、継続的な行財政改革の取組が必要と考えています。

平成23年度は、三種町のまちづくりの指針となる「三種町総合計画」5年目、前期計画の最終年度となるため、計画の総仕上げに向けた施策の実施のほか、本町の諸情勢を念頭に置き、①情報通信基盤の整備、②公共施設の安全化の推進、③雇用対策事業の推進、④組織機構に沿った施設等の整備の4点を重点施策と位置づけ、地域活性化の推進及び住民の安心・安全な暮らしの実現に向け取り組みます。